

かくだ

第180号

平成27年2月1日



ライブ配信やってます

※詳細は10ページ

Kakuda city



▲第9回議会報告会開催のようす（平成27年1月17日 野田生活センターにて）
（地元の方のご案内で、現地確認も行いました。）

■おもな内容■

第374回定例会	2～6
◇本会議の概要	2～3
◇陳情の処理・意見書の提出	3
◇審議結果一覧	3
◇一般質問	4～6

◆行政視察の報告	7～9
◆2月定例会日程（予定）	10
◆議会日誌	10
◆編集後記	10

条例議案、補正予算議案など 23件の議案を審議しました。

第374回定例会は12月2日に招集され、市長提出議案が22件、議員提出議案が1件、あわせて23件の議案を審議しました。上程された議案は、慎重に審議され、21日間の会期を経て同月22日に閉会しました。

本会議

◎第1日(12月2日)
会期を21日間と決定した後、教育委員会委員の任命についてなど人事案件2件について、提案理由の説明があり、審議の結果、いずれも原案のとおり同意しました。

◎第2日(12月11日)
初日に市長から提案された18議案に対し、小湊毅議員、渡邊誠議員、日下七郎議員、八島定雄議員の4名が質疑を行いました。質疑の後、条例議案5件について所管の教育厚生常任委員会に付託しました。

◎第3日(12月18日)
条例の一部改正7議案及び宮城県市町村自治振興センター規約の変更についてを審議し、表決の結果、原案のとおり可決しました。

◎第4日(12月19日)
その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。
◎第5日(12月22日)
前日に引き続き、3名の議員が一般質問を行いました。
◎第6日(12月22日)
常任委員会に付託された条例議案5件について、本田敏昭教育厚生常任委員長が審査の経過及び結果を報告し、質疑、討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

◎第7日(12月22日)
次に、平成26年度一般会計補正予算(第6号)など5議案について、討論、表決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

◎第3日(12月18日)

その後、馬場道晴議員を提出者とする「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」の議員提案があり、表決の結果、原案のとおり可決しました。

最後に、平成26年度一般会計補正予算(第7号)を日程に追加し、市長から議案に対する提案理由の説明の後、質疑、討論、表決を行い、原案のとおり可決しました。

審議した議案の審議結果は、3ページ表1のとおりで、主な内容は次のとおりです。

人事案件

▼教育委員会委員の任命について
毒島弘美氏(再任)
(任期は平成26年12月25日、平成30年12月24日の4年間)

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について
戸田宏士氏(新任)

(任期は平成26年12月26日、平成29年12月25日の3年間)

主な補正予算の概要

▼一般会計(第6号)
歳入・歳出予算にそれぞれ9,018万7千円を追加補正するとともに、繰越明許費及び債務負担行為の補正を行うものです。

歳入の主なものは、県支出金及び前年度繰越金の追加で、歳出の主なものは、次のとおりです。

- 定住促進、角田・いらっしやいプラン推進事業補助金
- 角田保育所駐車場用地購入及び整備工事費
- 測量設計業務委託料(道路改良事業)

▼一般会計(第7号)

角田市消防団員、角田市交通安全指導員及び土地家屋調査士などに支給する報酬等の源泉所得税の徴収不足に伴い、延滞税及び不納付加算税を大河原税務署へ納付することとなったため、歳入・歳出予算にそれぞれ121千円を追加補正するものです。

条例の制定

▼角田市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について

「いじめ防止対策推進法」の規定により、いじめ防止等に関する機関及び団体の連携を図るため「角田市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、その組織及び運営について、条例の制定を行うものです。

○施行期日 公布の日

▼角田市いじめ防止対策調査委員会条例の制定について
「いじめ防止対策推進法」の規定により、角田市いじめ防止基本方針におけるいじめ防止等の対策を実効的に行うため「角田市いじめ防止対策調査委員会」を設置し、その組織及び運営について、条例の制定を行うものです。

○施行期日 公布の日

▼角田市いじめ問題再調査委員会条例の制定について
重大事態(いじめにより角田市立の小中学校に在籍する児童等が生命、心身、財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき、又は相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき)への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のため「角田市いじめ問題再調査委員会」を設置し、その組織及び運営について条例の制定を行うものです。

条例の一部改正の主なもの

▼角田市道路占用料条例等の一部改正について
道路法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、占用料等の額を改定するため、条例の改正を行うものです。

- 改正される占用料等
 - ・道路占用料
 - ・公園占用使用料

陳情の処理

▼ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情
仙台市青葉区みやぎ白丁目6-10 宮城県肝臓病交友会 代表 大江正義ほか2名

▼北角田中学校区通学路の安全確保についての陳情
角田市江尻字前原50番地 北角田地区学校教育振興会 会長 伊藤善昭

意見書の提出

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。
▼ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

表1

第374回定例会審議結果一覧

議員数は17名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は16名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	市民クラブ	政友会	日本共産党 角田市議団	無党派
市長提出議案							
人事案件							
教育委員会委員の任命について 固定資産評価審査委員会委員の選任について	12月2日	可決	○	○	○	○	○
豊添券							
一般会計補正予算(第5号)	12月2日	可決	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第6号)	12月22日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
平成26年度補正予算							
介護保険特別会計補正予算(第3号) 公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 水道事業会計補正予算(第3号) 一般会計補正予算(第7号)	12月22日	可決	○	○	○	○	○
条例							
特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について 教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正について 職員の給与に関する条例等の一部改正について 角田市国民健康保険条例の一部改正について 角田市道路占用料条例等の一部改正について 角田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について 給水条例の一部改正について	12月18日	可決	○	○	○	○	○
例							
角田市いじめ問題再調査委員会条例の制定について 角田市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について 角田市いじめ防止対策調査委員会条例の制定について 角田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の制定について 角田市地域包括支援センターの職員に係る基準等に関する条例の制定について	12月22日	可決	○	○	○	○	○
その他							
宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	12月18日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	12月22日	可決	○	○	○	○	○

各会派の構成メンバー

- クラブみんしん(谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、伊藤善昭、柄目孝治)
- 市民クラブ(本田敏昭、小島正、湯村勇)
- 政友会(渡邊誠、齋藤正一郎、小湊毅)
- 日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄)
- 無党派(会派に属さない議員)馬場道晴、相澤邦戸、高橋力雄副議長、佐藤正友議長

※12月18日の表決に参加した議員数は15名。



地域おこし協力隊について

渡邊 誠 議員

議員▼まちづくり、都市人材を活用する制度で、

年度には、各地区での地域説明会を開催し、制度

農政課長▼旧町村単位ですと、行き届かない部分

議員▼「小規模企業振興基本法」の成立を受けて

以下、商業・サービス業は5人以下の基本法で

まいります。専任・専門・正規の学校図書館司書を全校へ配置することについて

地域経済の振興策について

八島定雄 議員



議員▼生活困窮者自立支援法が平成25年12月に成立

議員▼平成25年6月、改正学校図書館法が成立し

議員▼深刻化するイノシシ等による農作物被害と

に改め、目的を鳥獣の「保護」から「管理」へ転換

の管理を行う指定管理鳥獣捕獲事業として、イノシシやニホンジカなど著

議員▼平成26年産米の米価下落は国の問題ではある

ば、周辺市町が一体となって行っていくことになり

級などにより属地的に賦課金額が異なっています

イノシシ等による農作物被害の防止対策について

日下七郎 議員



そこで、市長に、今後のイノシシ等による農作物被害防止対策(角田市鳥獣被害防止計画の変更)について伺います

市長▼今回の改正には、昨年12月に環境省と農林水産省が共同で抜本的な

市長▼地方が国の肩がわりをして対応すると、な

議員▼角田土地改良区と角田限東土地改良区が合併し、あぶくま川水系

負担軽減対策については、市が土地改良区に対し、



角田市における今後の農業施策について

湯村 勇 議員



小田地区まちづくり懇談会について

小島 正 議員

議員▼まちづくり懇談会の際の住民の方からのご意見について質問します。東日本大震災後、市道1212号(斗蔵表参道線)は破損したままです。その状況をどうにか受け止めているのか伺います。

善、新しい制度の導入が必要で。小田地区の人口減少に歯止めをかけるために新たな公共施設を設置するというご意見ですが、単に人口増には繋がりにませぬ。旧小田小学校の跡地、休館状態の小田児童館など、今ある施設を有効利用する方策を考えていきま

のようにお考えですか。市長▼旧小田小学校の校舎は、現在、郷土資料館の民俗系の資料などの収蔵庫として暫定的に活用しています。小田地区振興協議会からいただいた跡地利用の提案を尊重した計画にしようと思いま

議員▼イベントなどの各種催しについて、市外の方にお知らせする方法は、現在、ホームページのみとなっております。これです。これで十分だとお考えですか。

「せんなん広域マガジン」への掲載や、「Sistyle」にある「まっぶる」等の民間の情報誌にも掲載をして頂いています。

要ではないですか。市長▼児童センターで児童厚生員や子育て相談員と一緒に遊具等で楽しく遊ぶ機会を設けています。子育てサークルの支援や赤やん広場や絵本の読み聞かせ等のイベントを定期的に開催しており、親子で気軽に参加いただいております。子ども図書館にベランダを用意しましたが、コーヒーを飲むとか弁当を食べるとい

交流人口100万人と定住人口3万人について

小湊 毅 議員



市長▼医療費支援として、不妊治療費の助成、妊娠初期から出産までの14回の妊婦健診費用の負担、中学3年生まで入院・通院の医療費の無料化、待機児童対策として中島保育所の定員を140名から170名に増員、平成27年度からスタート予定である子ども子育て支援新制度に向けた対応、放課後児童クラブの拡充等を予定しており、他の自治体と比べ先進的に取り組んでいると思っております。

市長▼いいお話をお聞きしました。参考にさせていただきます。空き家バンク制度を充実させていきたいというふうに思っています。

行政視察報告

総務財政常任委員会

視察期間

平成26年10月21日(火)～23日(木)

視察地・目的

①滋賀県米原市 「水源の里まじらみらいづくり隊員(地域おこし協力隊)について」

②岐阜県大垣市 「大垣市防災センターについて」

③愛知県安城市 「安城市防災ラジオについて」

視察所感

①滋賀県米原市 総務省の「地域おこし協力隊」事業は、地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし活動や農林漁業、住民の生活支援等の「地域協力活動」に従事してもらい、同時にその定住・定着を図り、地域を活性化しようとするものであります。また、財源としては特別交付税が充てられます。

米原市は、平成17年に郡内4町が合併して誕生した、人口40,354人の市であります。この合併にあたり、各町が抱える政策課題の調査が進んでおり、課題解決に向けての検討がなされていきました。そのため、「地域おこし協力隊」の導入に際しても、隊員に対する空き家の手当て、受け入れ地区の受け皿(地域おこしグループ)づくり、人間関係などへのアドバイス等、隊員のモチベーションに資する支援体制が比較的うまくいったのではないかと考えられます。ちなみに、隊員同士のカップルが誕生

したり、議員となって活躍している隊員もいるのであります。総務省には、この制度を都会から地方への「インターン」の呼び水にできないかという思惑もあるようであり、1人当たり400万円を限度に、3年間の補助をつけて4～5人の都会者を田舎に移住させたからといって過密・過疎の問題が緩和すると思えませんが、大事なことはそういったマクロの視点ではなく、ミクロの視点、すなわち地方が抱える目の前の課題にどう利用できるか、知恵を絞ることだろうと思っております。

おりしも政府では、特命担当大臣による地方創生を打ち出しています。今後、この大臣のもとにどのような施策が出てくるのか未だ不透明であります。が、「アイデアはそちらで出しなさい。お金はこちらで出します。」というの



▲大垣市防災センターにて

が基本的な姿勢であろうと思われることから、地方としてはこれまで以上に知恵を絞ることが求められるものと思っております。

②岐阜県大垣市

第8回角田市議会報告会において、中島地区・桜地区等の参加者から「今の角田市地域防災計画では水害時の避難場所が現実的ではない。」との意見がありました。

このことが契機となりまして、平成26年8月5日に総務財政常任委員会が主管となり、議員・関係職員を対象とした国土交通省の「出前講座」を開催し、阿武隈川の河川整備計画等について研修を行いました。その際に先進事例として説明のあった「河川防災ステーション」について、今回行政視察を行ったものであります。

【国土交通省の河川防災ステーションの概要】

○目的 河川の堤防沿いに構築され、洪水時に水防活動や緊急復旧活動の拠点、物資輸送の基地、ヘリポートとして活用する施設であります。

一方、平常時には、川に関する学習の場、情報の発信基地として、また、地域のレクリエーション、コミュニティスペースとして多目的に活用できるものとしてあります。

○要望 市町村が国土交通省・都道府県(河川管理者)と協議し、整備計画案を作成し国に申請することになります。

○整備 河川防災ステーションの基本部分(土地・造成・基本建造物・機材・資材)は国土交通省の予算で整備し、その他は市町村(学習設備など)の予算で整備

備することになります。

【課題】

○避難を目的とした施設ではないため、災害時の緊急活動を阻害せず避難場所として活用可能なものであるのかということであり、所要の面積を確保できるのかということとあります。

○堤防沿いに設置する必要があるから、角田市の場合は、以上の2点が課題であろうと思われれます。

③愛知県安城市

角田市議会では、市内42基のサイレの活用をめぐって議論がなされているところであり、非常時における情報伝達的手段として、さらに有効な方法がないかを探るために、愛知県安城市で採用している「防災ラジオ」の視察を行いました。

安城市の「防災ラジオ」のシステムの概略は、次のとおりであります。○ 割込み機能を内蔵した防災ラジオをメーカーに発注し、実費9,000円前後(発注台数により異なる)のラジオを1台2,000円で市民に頒布している。

○ 既存のFM局(キャッチエフエム)と提携し、緊急時には庁舎内の通信設備から提携局を通じ、信号を発生して防災ラジオに割り込み、緊急放送している。

○ 防災ラジオは、一般のラジオと同じように使用できるが、使用中でなくとも、コンセントにつないでいる限り、信号を受けて自動的に起動する。(バッテリー内臓のため、充電時でも一定時間は使用可能)

平成25年度からの事業であり、防災ラジオの普及率は一般世帯・事業所を合わせて、現在約9.5%のこととあります。

《教育厚生常任委員会》

視察期間

平成26年11月4日(火)～11月6日(木)

視察地・目的

①静岡県島田市 「スポーツ合宿誘致事業の取り組みについて」

②山梨県富士吉田市 「公立保育所における学校給食センターからの給食搬入事業の取り組みについて」

③静岡県沼津市 「施設一体型小・中一貫学校の取り組みについて」

視察所感

静岡県島田市

島田市では、大井川の河川敷に馬拉ソン専用コース「リバティ」を有していることから主に陸上の長距離競技を対象にしたスポーツ合宿誘致事業を展開しています。

位置的に関東圏からの集客を目標としてきましたが、東京都と隣接する県には勝てないことから、その差額を埋めるために補助金制度が始まったようです。

他市町村の方に税金を使うことに対し、支出と同額以上の経済効果も計算された計画となっており、その営業方法も徹底していました。

スポーツに精通した担当職員を配置し、お客様から連絡が入ればホテルの手配、迎え、見送り、食事の手配まで行っている。

まさに「おもてなし」を徹底していました。また、合宿校が箱根駅伝等の大会に出場する際は職員が応援に駆けつけているようです。

結果として、気持ちの良い合宿ができた地は選手にとって良い場所であり、リピーターとなつていきます。

さらに、そうした効果が「しまだ大井川馬拉ソンinリバティ」に現れており、第1回は6千人の応募が80日掛かっていったものが、第6回大会では3日で1万人が集まる大会になっていました。

角田市においても角田中央公園の利用者は年間20万人を超える勢いがあり、プロスポーツも含めた誘致活動が活発になってきていますので、それぞれの活動が相乗効果を生むようになれば良いと思います。

また、スポーツ全体のコーディネーターのできる、専門的な職員の配置が必要ではないかと感じてまいりました。

山梨県富士吉田市

富士吉田市では、本来9,000食の能力のある給食センターでしたが、少子化の影響もあり5,000食に満たない数量になって来たことから、「公立保育所における給食の外部搬入方式



▲富士吉田市役所にて

の容認事業」の給食特区に取り組みました。

施設は老朽化もあり、当時の特区申請には大変な苦労があったようです。現在は給食センターの建替え時期が来ており5,000食で約23億円の施設建設を計画中とのことでした。

特区については平成22年6月から、3歳以上であれば特区申請の必要がなくなつてきているとの担当者からの話でしたので、角田市で計画中の給食センターにおいても出来ることはないか、検討するべきと感じてきました。

静岡県沼津市

沼津市における本計画は将来を見据えながら長期に亘って計画されたものであります。

平成15年に「静浦中学校校舎移転並びに小学校統廃合協議会」が設置されて以降、平成19年に「沼津市静浦地区小中一貫校検討委員会」の設置を経て平成26年4月に静浦小中一貫校開校と11年間におよび年月をかけて実施しています。

また、長期的な計画を組むことで他校にはない新しい試みも行われてきております。

中でも、1、4、5、7、8、9で9年間のカリキュラムによる目標設定。4階建て校舎の各階に設置された図書館等々、大変素晴らしいものでした。角田市においても、近年小中学校で統廃合がなされてきましたが、それぞれに問題の残る結果だったと感じています。

今後の人口推移も減少傾向に歯止めがかからないものと予想されていることから長期的な計画を今の内から立ち上げ、話し合っていくことが必要であると感じてまいりました。

《議会運営委員会》

視察期間

平成26年10月9日(木)～10日(金)

視察地・目的

①福島県会津若松市 「自由討議のルール化について」

②新潟県新発田市 「代表質問について」

視察所感

福島県会津若松市

自由討議について会津若松市では、議会基本条例第12条(議員間の討議による合意形成)に規定されておりました。議員間討議の基本的な考えとして、

「自由討議のルール化について」 「代表質問について」 「議会改革と議会運営について」

視察所感

新潟県新発田市

このように、論点を明確にしながら議員間討議を行い、合意点と合意に至らなかつた点とを明らかにすることができてはじめて、「委員会を主語としながら、なぜ4対3という議決結果になったのか」を説明することができて

議員間討議までのフローは、議案の内示(招集日の8日前)



▲新発田市役所にて

市議会2月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 2月 12日(木) 招集告示、会派代表者会議
 16日(月) 議員協議会、議会運営委員会
19日(木) 本会議(提案理由の説明)
 会派代表者会議
 議会運営委員会
 23日(月) 常任委員会(請願審査)
 26日(木) 常任委員会(請願審査)
27日(金) 本会議(質疑・自由討議)
予算審査特別委員会
 議会運営委員会
 3月 2日(月) 議会運営委員会
3日(火) 本会議(討論・表決)
予算審査特別委員会
4日(水) 予算審査特別委員会
 会派代表者会議
 5日(木) 予算審査特別委員会分科会
 (総務財政・産業建設)
 6日(金) 予算審査特別委員会分科会
 (教育厚生)
 9日(月) 常任委員会(議案審査)
 10日(火) 常任委員会(議案審査)
11日(水) 予算審査特別委員会
12日(木) 本会議(一般質問)
13日(金) 本会議(一般質問)
 議会運営委員会
16日(月) 本会議

※ 請願及び陳情等の提出期限は、2月12日(木)までとなります。
 ※ 本会議の開会時刻は、午前10時です。
 ※ **太文字**はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。



※ 日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第374回(平成26年12月)定例会

傍聴者数 14名
インターネットライブ中継視聴者数 98名

議 会 日 誌

10月

- 31日 会派代表者会議
 30日 業団協議会定例会
 28日 全国市議会定例会
 27日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会
 21日 政視察(〜23日)
 17日 宮城県市議会議長会秋季定期総会(登米市)
 16日 総務財政常任委員会行政視察(〜23日)
 15日 東北市議会議長会事務局職員研修会(〜22日・三沢市)

11月

- 21日 議員協議会
 20日 宮城県市議会議長会議
 18日 議会運営委員会
 17日 会派代表者会議
 14日 全員協議会
 7日 正副委員長会議
 6日 常任委員会行政視察
 5日 全国市議会議長会評議員会(東京都)
 4日 教育厚生常任委員会行政視察(〜6日)

12月

- 15日 教育厚生常任委員会
 11日 議会運営委員会
 4日 本会議(第2日)
 2日 第374回定例会本会議(第1日)
 27日 議員協議会
 25日 第374回定例会招集告示
 24日 会派代表者会議
 23日 全員協議会
 22日 議員協議会
 21日 議会運営委員会

1月

- 15日 議会運営委員会
 9日 宮城県市議会議長会事務局局長会議(栗原市)
 24日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会
 22日 議会運営委員会
 19日 本会議(第3日)
 18日 本会議(第4日)
 17日 議会改革検討会議
 16日 会派代表者会議
 15日 議会運営委員会

編集後記

早いもので、新年を迎えてから、もう1か月が過ぎました。

市では今、新年度予算の編成を行っております。東日本震災で被害を受けた下水道や市民センター等の復旧・改築が順調に進んでおりますが、市民により一層の幸せを与えられる事業が予算に組み込まれていることを期待しております。

「地方創生」が叫ばれる中、角田市においても少子高齢化、人口減少が大きな課題となっております。出生率の向上、若者の定住促進、次世代を担う人づくり、交通網の整備・交通弱者への配慮、魅力的なまちづくり等、多様性が求められる分野ではありますが、そういった課題に対し、市と議会とが知恵を出し合い、切磋琢磨しながら、これからも前進してまいります。

議会だより編集会議